



ながしま

議会だより

NO.23



うっすらと雪化粧した^{さざんか}山茶花
凜とした美しさ

12月定例会

(H23.12.9 ~ 12.21)

定例会で決まったこと.....	2~4
施策を問う（一般質問）.....	5~9
決算特別委員会の審査報告.....	10~11
常任委員会の審査報告.....	12~13
所管事務調査報告.....	14
議会のうごき.....	15
臨時会、濱上實則議長ご逝去.....	16~17

一般会計予算に 1億6585万4千円を追加

総額110億3660万1千円

平成23年度の一般会計補正予算（1億6585万4千円追加、総額110億3660万1千円）のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、介護保険、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備、後期高齢者医療の7特別会計補正予算を原案可決した。

今回、補正された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

だんだん市場駐車場防犯カメラ設置・・・・・・・・・・2,100千円
 風力発電機ピッチモータ部品交換・・・・・・・・・・1,386千円
 平尾地区に地上デジタルテレビ共同アンテナを新設・・・・・・9,408千円
 障がい者自立支援のための給付・・・・・・・・・・12,008千円
 法改正に対応する子ども手当システム改修・・・・・・・・・・2,881千円
 小規模特別養護老人ホームの開設準備や進入道路工事等・・・・25,533千円
 北さつま漁協長島支所事務所の移転補助金・・・・・・・・・・1,950千円
 県営事業（葛輪漁港・薄井漁港等）の町負担金・・・・・・・・・・56,900千円
 消費者被害を未然防止するためのパンフレット作成・・・・・・・・768千円
 温泉センター椿の湯浄化槽、沈殿槽の修繕・・・・・・・・・・460千円
 浄化槽設置者に対する補助金（東区域）・・・・・・・・・・2,632千円
 認定農業者の経営規模拡大推進・・・・・・・・・・1,366千円
 荒廃竹林を整備し、筍の生産増加を図る・・・・・・・・・・200千円
 林道五郎地平線の開設・・・・・・・・・・3,960千円
 県営事業（長島宮之浦港線、平尾川床線）の町負担金・・・・・・9,077千円
 町道平尾浜渡線の道路改良・・・・・・・・・・20,002千円
 町道萩之牟礼茅屋線の道路改良・・・・・・・・・・21,989千円
 港湾の長寿命化計画策定に伴う調査委託料・・・・・・・・・・603千円
 公営住宅建設予定地の地盤改良等・・・・・・・・・・3,500千円
 脳卒中の発症予防や重症化予防の促進事業・・・・・・・・・・316千円
 農業集落排水施設の修繕・・・・・・・・・・9,000千円



指江の風力発電機を修繕



北さつま漁協の事務所を移転



農業集落排水施設を修繕（鷹巣）



↑開設準備が進む小規模特別養護老人ホーム（川床）

平成23年第4回長島町議会定例会は、12月9日から21日までの13日間の会期で開かれた。

平成22年度長島町決算を認定し、平成23年度の一般会計補正予算（1億6585万4千円追加、総額110億3660万1千円）や特別会計補正予算、蔵之元漁港港整備交付金工事の工事請負契約変更など議案10件を可決、請願1件、陳情1件を採択した。

このほか、人権擁護委員候補者を推薦することに同意し、長島町議会の活性化を目的とする特別委員会を設置した。

発議

議会の活性化を調査検討

町議会の活性化を図ることを目的として「長島町議会活性化調査特別委員会」を設置した。
同委員会は議長をのぞく議員で構成。「議会基本条例等検討部会」「定数・報酬等に関する調査部会」「幹事会」を設け、議会の活性化や基本条例、定数、報酬などについて慎重に議論を重ねていく。



第1回長島町議会活性化調査特別委員会の様子

認定

平成22年度長島町決算

第3回定例会で決算特別委員会へ付託していた平成22年度一般会計および特別会計の決算を認定した。



川床の公営住宅を現地調査

請願

諸浦埠頭可動橋請願

有限会社山坂汽船から提出された請願「諸浦埠頭可動橋に関する請願」を採択した。



諸浦港埠頭にある可動橋

契約

蔵之元漁港整備の契約変更

蔵之元漁港港整備交付金工事の契約金額を7119万円から8000万円に変更することを可決した。

陳情

郵政改革法案陳情

郵便局長会から提出された陳情「郵政改革法案の早期成立を求める陳情書」を採択し、議員発議により意見書を可決した。

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の浦底和男氏（浦底）が平成24年3月31日で任期満了となるため、引き続き同氏を人権擁護委員の候補者として推薦することに同意した。

その他

総合事務組合の規約変更

奄美自治会館管理組合の解散等に伴い、平成24年4月1日から鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少および同組合規約の一部を変更することを可決した。

一般質問
施策を問う

川上 勇 議員



乳幼児等医療費
対象者の拡大を

質問 本町では、現在小学校3年生までの子どもたちへの医療費助成が行われている。

近くの出水市・阿久根市では、中学校卒業までの生徒に対し助成がなされており、「医療費の助成を近隣の市並みにできないか」母親の皆さんの話題となっていると聞く。子育て期にある家庭の医

療費負担の軽減を図り、定住促進を推進するために小学校3年生までの現行制度を中学校卒業までに拡大できないか伺う。

24年度の目玉事業として取り組む

答弁 町長 乳幼児等医療費助成対象者の拡大を行えば、子育て環境の改善が図られる。子育て支援施策の一環として重要な事業と

一般質問

考える。県もこの医療費助成の年齢拡大について市町村への財政支援を行うべきと思っている。平成24年度福祉事業の目玉として当初予算で積極的に取り組む。

指江の農協付近
の国道交通安全
対策を急げ

質問 指江の農協付近では、車や人の出入りが多く、骨折等の人身事故が多発している。平成21年12月議会での一般質問で、町長は、事故防止対策について答弁をされたが、その進捗状況はどうなっているか。また、最近死亡事故2件の増等、人身事故も急増している。当該地区で重大事故が発生しないように、右折レーンの設置等思い切った安全対策を行う考えを伺う。

電柱移転・歩道設置を進める

答弁 町長 この地区の交通安全対策について、平成22年1月に町交通安全協会等と現地検討会を行い、警察署、道路管理者、交通安全協会等と合同現地診断を行った。国道の横断歩道の移動等3点の改善策を平成24年3月までに実施することになっている。

今後の対策としては、関係者の協力をいただき国道のAコープ側にある既存の電柱を移転して、農協スタンドから信号機付近まで歩道を設置する方向で進める。

TPPに参加した
場合、町長の
考えは

町独自の情報発信は質問 国政では、環太平洋連携協定TPPが再浮上し、地方の基幹

答弁 町長 カンシヨ澱粉、バレイシヨ澱粉およびサトウキビ等、日本農業に大きな影響があると思っている。TPP参加は何と言っても阻止されたい。TPP参加については、農業団体や水産団体が独自の考えでPRすべきと思う。

国においても意見が二分しており推移を見守ってから判断したい。



多くの農地や漁場を有する長島町。TPP参加による農林漁業への影響が懸念される



小川 武男 議員

魅力ある観光地づくりを急げ

質問 長島を訪れた多くの観光客は、自然美・文化遺産・山海の食材等に触れ、五感で長島を堪能できたとの感想をよく耳にする。これまで県営事業や町単独事業で魅力ある観光地づくりが行われているが不十分である。特に次の整備について伺う。

- ①点在する観光スポットを繋ぐ道路整備
- ②文化ホール周辺の整備
- ③温泉センターの整備（新たな泉源のボーリングを含めて）

答弁 町長 ①魅力ある観光地づくりを推進するには、観光地を結ぶ道路や駐車場の整備は必要である。用地交渉で進まないこともある。まずは、有利な事業で整備を進め、状況を見ながら道路整備を進めていく。

②文化ホール周辺の整備は、県の魅力ある観光地づくり事業で平成24年度に石積みで段々畑をイメージした散策やツワブキ狩りのできる公園整備を計画している。なお、国道から公園を結ぶ道路整備事業は町事業で合わせて行う。

③温泉施設は町民の健康増進や保養のほか、宿泊施設への誘客の効果もある。両施設は老朽化が進み、年々修繕費と維持費が増加している。新たな泉源掘削を含め、町有施設のあり方委員会の答申を受け、総合的に対策を図っていく。

太陽光発電機設置に補助金を

質問 東日本大震災により原子力発電施設が大きなダメージを受け、放射線物質が放出し、原子力発電所のあり方が問われ、議論されている。

国、県、多くの自治体では、太陽光発電機を設置に補助金を出して奨励している。本町でも補助金制度を設け推進する考えを伺う。

また、平成24年度に建設する獅子島の学校に、生きた学習教材として太陽光発電機を設置する考えはないか伺う。

して太陽光発電機を設置する考えはないか伺う。

補助金制度は難しい
答弁 町長 現在では難しい状況である。今後の導入についてはエネルギー問題、環境問題等状況を踏まえ、メリット・デメリット、費用対効果等検討する。

獅子島に建設する学校への設置については、設置の方向で進める。

学校統廃合推進室を設置しての推進は

質問 学校の統廃合は、教育関係では最も重要で大きな問題であり、保護者や住民の関心も高い。平成29年度に答申に沿った統廃合ができるか疑問である。そこで学校統廃合推進室を新たに設けて

推進する考えはないか伺う。

また、保護者や子どもたちの考えが最も重要と思うが、考えを伺う。

学校統廃合の推進
担当職員を配置

答弁 教育長 現在、担当職員を配置し、小中学校統廃合推進委員会や地域説明会を開催するなど、計画的に答申に沿った統廃合に向けて推進を図っている。また、保護者や地域住民の意見を良く判断して進めて行く。

6次産業化への支援と推進継続を

質問 地域資源を活用した農林漁業者等が、新事業の創出や農林水産物の利用促進に関する6次産業化法が公布された。

本町では、沿岸で獲

れた魚を加工し、付加価値を付け販売するグループがある。6次産業化を推進するためには、今後も助成と指導が必要と思う。また、今後の取り組みについて考えを伺う。

小規模グループを育成
答弁 町長 水産加工グループ育成は、「うまかもん幣串」と「浜のかあちゃん」を育成している。これまで、アジアやカマスの乾物、ハンタのすり身等を販売している。

今後は、小規模の加工グループをさらに育成し、農産物、水産物の6次産業化と雇用の増大を図っていく。



児島 薩男 議員

馬鈴薯作後の大豆・ソバ導入の考えはないか

質問 ①表土の流失対策について、平成23年度の馬鈴薯作付面積は1,131ha。裏作である甘藷等の作付面積は400haと推計されている。残りの面積の多くは、抑制馬鈴薯が春馬鈴薯まで休作となる。長島の土壌はトラクター等で耕運すると、粒子が小さく表土が流されやすいが、対策はないか。

②近年農家の高齢化とともに甘藷栽培面積が減少してきている。高

齢者に労力的負担の少ない甘藷に代わる新規作物として大豆とソバの導入について、大豆は、戦前作付けされていたが所得率が低い作物のため、現在ほとんど作付けされていない。国は平成23年度から甘藷と同様、戸別所得補償の対象作物として指定した。大豆は、ビタミン・脂肪・タンパク質が多く含まれ、畑の肉とも言われている。

大豆の国内生産は、全需要の6〜7%に過ぎない。長島町には農林水産加工センターが

2施設ある。ここでも大豆を使った味噌加工が行われている。また、豆腐の製造業もあり長島の豆腐は美味しいと評判が良い。

大豆は健康食として世界的に見直されつつあるが、所得率が低いので、国の戸別所得補償等を活用して大豆に付加価値を付けて、長島の特産品として安心・安全な食品と位置づけ大豆栽培の推進の考えはないか。また、ソバも同様に以前は、自家用は自分で栽培していたが、今はほとんど町外産が多い。ソバも国の戸別所得補償の対象になった。

これからの農業・漁業は、生産するだけでなく、いかに付加価値を付け所得に繋がっているかが必要だ。現在ある施設を100%活かし、長島で生産された農産・海産物に付加価値をつける対策として、平成24年度を重要課題と位置づけ、6次産業化の推進を図る考えはないか。

答弁 町長 ①表土の流失対策は中山間農業基盤整備事業等の導入で排水路等の整備をすることで流失対策を図りたい。

②裏作として新規作物関係は、水田の転作として2年間試行錯誤しているが、目玉になる作物に手ごたえがない。町全体に馬鈴薯の後作として栽培することとは難しいと思うが、地域を限定して長島で栽培された大豆・ソバとして川床ふれあいの郷「まめや」などで販売することは可能と考える。

インターネットでの町例規集等の開示計画は
質問 ①長島町ホームページに町例規集等の開示計画はあるか。県内市町村は例規集の開示を行っているが、長島町の例規集の開示計画についてはどうか。

また、長島町のホームページで特産品を紹介しているが、他にも特産品があるのではないかと。水産加工品、赤巻きなどの紹介はどうか。インターネットのホームページの見直しが必要と思うが。

②インターネットの高速回線の整備について、電話局からの距離が4キロ以上離れると回線速度が遅くなる。特に、遅い地区が、諸浦周辺、伊唐、獅子島、田尻、火ノ浦、下山門野である。インターネットを利用して仕事をしている人もいる。



また、企業誘致するためにも通信情報網の整備が必要と思うが、高速回線に改善する事業導入の考えはないか。

答弁 町長 ①町例規集のホームページの公開は、平成24年度の早い時期に公開する計画。特産品の紹介はどこまでできるか、また、食の紹介は観光と地域活性化を図る上で必要と考える。

②高速回線の整備は防災無線のデジタル化を含め解決策を研究する。

林 義明 議員



児童、生徒を東南アジアへ派遣する考えはないか

質問 本町の児童、生徒を、本町の教育行政の一環として先進国ではない、発展途上国と言われる国に派遣する考えはないか、町長、教育長の見解を伺う。

答弁 町長 子育てに對する思いは同じものを持つてゐる。発展途上国に長島の子どもたちを派遣することは、便利な生活に慣れてしまった児童生徒が、日本人が、かつて行つて

いたような農作業や生活習慣等に触れることで、先人の知恵に気付いたり、自分たち自身の生活を改めて考え直すことができたりといったことで大変有意義なことだと考えている。

しかし、町が責任を持つて派遣できるかどうか、十分な時間をかけて調査検討、研究する必要がある。

答弁 教育長 発展途上国へ派遣すること、さまざまな教育的効果、児童生徒の成長の姿が期待できると思

われるが、現段階では、安全面や費用面を考えると困難だと考えている。

しかし、国の事業、あるいは県の事業等を利用して子どもたちを派遣するという方法があると思つてゐるが、具体的にはどういう手続きで子どもたちを派遣できるか、もう少し調べてみたいと思う。

特産品販売所へ出荷する農家の指導は

質問 だんだん市場の平成22年の農産物の販売額で町内産63%、町外産37%の取り扱いであつたものが、平成23年は町内産がわずかが2%増加しているようだ。

しかし、まだ町内産の自給率が高まつたとは思えない。今年の3月定例会で自給率を高める方策を伺つた

結果、組織化を推進し、作業歴をつくり、栽培等の指導を行う必要があると答弁されたが経過はどうであつたか。また、農家の生産を高めるため、簡易なハウス、生産された産物を出荷調整する冷蔵庫が必要と思われるが、考えを伺う。

答弁 町長 農産物の売れ行きが悪い時期に、どのような対策を打つかということが大事である。

町も農家への指導を徹底するということで説明会を開催。また、端境期および売れない時期にどうするかということになるが、何かイベントを絡めてやるということも大事である。また、施設整備についても前向きに考える必要がある。とりあ

えず、だんだん市場に出荷する人たちに對してだけするのかどうかの問題点はあるうかと思うが、来年度予算に向けて担当課とも話し合つてゐるので、意向に沿えるよう

に努力していきたいと思う。



だんだん市場に並ぶ農産物

田中 正隆 議員



合併に伴う是非

質問 合併後5年を経過したが、本町の特徴が出た点、また効果に乏しく阻害要因と思われる点は。

答弁 町長 財政運営で安定が出た。当時11億円余りが平成23年度積立予定額37億円程度を見込んでゐる。

第一次産業および公共事業の活力、インフラ整備等がある。福祉の充実、造形美術展、フラワールード事業が、その成果である。阻害要因として獅子

行政改革の状況

質問 行政改革推進委員会の諮問と答申について。

答弁 町長 平成18年10月諮問し、平成18年12月答申があり、一回実施している。

質問 平成18年3月合併に伴う例規集（条例規則等）約600余りが制定されているが、その運用について。

答弁 町長 条例、規則については、法律の定むるところに執行している。再任用はしていない。臨時職員を置いてゐる。規則は、町長が町政がやりやすいように、法の範囲内で変えるのが規則であるとして理解している。

町有既存施設のリフレッシュを

質問 町有既存施設のリフレッシュは。

答弁 町長 太陽の里周辺について、施設全体の老朽化が進んでゐる。リニューアルし、管理不足については、万全を期したい。

傍聴においでください

次回定例会は 3月上旬 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、3月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



平成22年度 決算を審査

決算特別委員会の審査報告

別表 収支の状況（実質収支額）

会 計 別	歳 入 総 額	歳 出 総 額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	10,757,135	10,007,179	186,224	563,732
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	2,122,213	1,982,410	0	139,803
国民健康保険診療施設特別会計	427,726	399,879	0	27,847
へき地診療施設特別会計	68,463	53,933	0	14,530
老 人 保 健 特 別 会 計	2,405	2,405	0	0
介 護 保 険 特 別 会 計	1,113,343	997,751	0	115,592
簡 易 水 道 特 別 会 計	388,819	360,385	0	28,434
諸 浦 港 埠 頭 特 別 会 計	9,894	3,831	0	6,063
農 業 集 落 排 水 特 別 会 計	51,352	49,086	0	2,266
漁業集落環境整備特別会計	169,804	169,507	0	297
特定地域生活排水処理特別会計	60,792	59,126	0	1,666
水 産 種 苗 供 給 特 別 会 計	38,795	28,178	0	10,617
後期高齢者医療特別会計	112,817	112,726	0	91
合 計	15,323,562	14,226,394	186,224	910,944

※金額の欄は、各項目とも円単位で計算した額を千円未満四捨五入して計上しているため、合計額等が一致しない場合がある。

※この報告は、一般会計・特別会計の状況を記載しており、普通会計の概要を掲載してある広報ながしま1月号の報告数値とは異なる。

行率は90・78%となつてゐる。目的別に見ると、構成比が大きいものから民生費21億5137万1204円で21・5%、総務費17億3926万7007円で17・38%、公債費16億2639万7137円で16・25%、土木費15億3699万5684円で15・36%、農林水産業費12億3961万1074円で12・39%の順となつていて、以下は省略する。

出納整理期間後の基金積立高は42億2957万5千円である。

各種財政指数は、財政力指数0・18%、実質公債費比率は11・2%、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は82・9%であり、対前年度比5・8%の減となつてゐる。

財政構造健全確保からすると、人件費、公債費等の経常経費の支

出が多いため、厳しい財政状況にあると言える。

特別会計の決算状況は、別表のとおり。

次に、財産に関する調査について報告する。財産の行政財産、普通財産、物品、基金等はそれぞれの目的に従い、いずれも法令・条例に基づいて適正に管理されていた。

以上で書類審査を終え、現地調査を実施した。現地は、三船漁港漁業集落環境整備事業や長崎鼻灯台公園整備事業、長島町文化ホール施設管理運営など10件を調査した。各事業、施設管理運営等は計画的に実施され、町民の要望に応えて社会資本整備に取り組み、その成果が上げられているものと判断した。

委員会のまとめとして、財政運営について、行政需要が増大するな

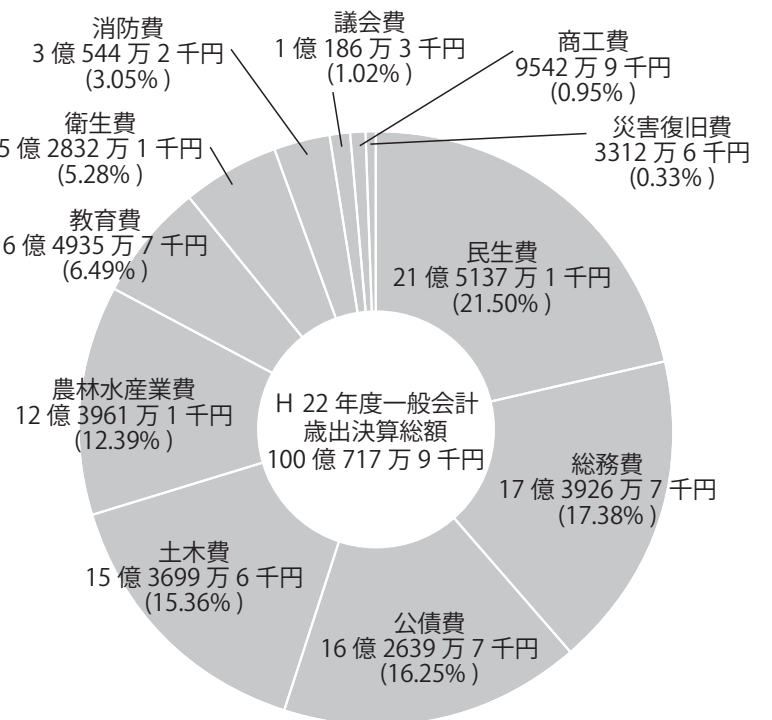
かて積極的に事務事業に取り組み、所期の成果を収めているが、自主財源に乏しい本町は、地方交付税などの依存財源に頼っている状況なので、町税等の動向を見極め、諸経費の節減に努力し、効率的かつ効果的な町づくりを推進されたい。

最後に、委員会の意見として、県道沿いに植栽されているミカンの木等の管理が行き届いておらず、ぐるっとフラワーロード事業を推進する町としては、改善が必要である。担当部所を定め、管理を徹底してほしいとの意見であった。

以上で審査を終わり、討論者なし、採決の結果、認定第1号平成22年度長島町決算の認定については、全員一致で認定すべきものとして決定した。

用語の解説

- 歳入
会計年度における地方自治体等の収入
- 歳出
会計年度における地方自治体等の支出
- 総務費
全般的な管理事務、企画調整事務、財政事務、選挙事務などの経費
- 民生費
社会福祉、身体障害者、老人福祉、児童福祉などの経費
- 衛生費
保健事業、感染症予防、廃棄物処理などの経費
- 農林水産業費
農・林・漁業振興対策の経費
- 土木費
道路、橋りょう、河川、港湾、公営住宅などの経費
- 消防費
消火、防災防除、災害時被害軽減などの経費
- 教育費
教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費
- 公債費
事業を行うために借り入れたお金の償還金



一、投資會計支出の状況（目的別）

◎決算特別委員会委員長 義永 秀生

平成23年第3回長島町議会定例会において、決算特別委員会に付託された認定第1号平成22年度長島町決算の認定について、一般会計および各特別会計の決算を審査した経過と結果を報告する。

当委員会は10月25日から11月1日までの5日間、全委員出席のもと審査を実施した。

審査に当たっては、執行部に対し必要な資料の提出を要求し、決算書、主要施策事業に関する調書などに基づき説明を求めた。

その上で予算が議決した趣旨と目的に従って適正に、そして効率的に執行されたかどうか。それによってどのように行政効果が発揮できたか。それから見て、今後の行財政運営において、どのような

改善工夫がなされるべきか。という視点から審査を行った。

主な施策事業は、町総合振興計画や過疎、辺地計画に基づいた事業の推進はもちろんのこと、2年続けての赤潮被害発生による被災者への各種支援策や高病原性鳥インフルエンザの防除、九州新幹線全線開業に向けた誘客促進対策、全国緑化かごしまフェア協賛会場としての夢追い長島花フェスタ開催など、活力と魅力あるまちづくりが達成された。

平成22年度一般会計の決算状況は、歳入総額107億5713万5千円、歳出総額10億717万9千円、翌年度へ繰越すべき財源が1億8622万4千円で、実質収支額は5億6373万2千円

歳入の決算状況は、歳入総額107億5713万5794円で、予算に対する収入済率は97・59%となっている。自主財源である町税の収入額は8億6698万2086円で、対前年度比2473万8002円の減、収入総額に対する構成比は8・06%である。

構成比で最も大きいものは地方交付税で51億1066万5千円、収入全体の47・51%を占めている。対前年度比4億6194万8千円の増となっている。対前年度伸び率は9・94%で、地方交付税への依存体質を示すものである。町債は15億1680万円、対前年度比11・31%の減となっている。

歳出の決算額は10億717万9302円で、予算に対する執

常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 礒永 秀生

▼町民福祉課関係

問 子ども手当は所得制限が設けられることになるが、今後の見通しはどうか。

答 今後は、扶養手当になるのか、子ども手当になるのか、国の方針が決まっていない。現在は0歳から3歳未満は月額1万5千円、3歳以上小学校終了までの第1子・第2子は月額1万円、3歳以上小学校終了までの第3子は月額1万5千円、中学校終了までは月額1万円となっている。

問 障害者自立支援給付費の扶助費1200万円の増額は対象者増によるものか。

答 湯量の状況は、掘削当初は毎分80ℓであったが、現在は、毎分58ℓまで減少している。今後、施設を継続していくとなると施設の老朽化を含め、新しい井戸の掘削が必要と考えている。

▼水産商工課関係

問 北さつま漁協事務所移転と実施の時期について、指江周辺の漁業者との話し合いの経緯と着工予定は。

答 指江地区の漁業者との話し合いについては聞いていない。移転に伴う要望については、今年9月ごろ北さつま漁協より話があった。工事は年度内に完成の見込み。

建設経済文教常任委員会 委員長 児島 薩男

▼建設課関係

問 今後の住宅建設計画は。

答 住宅建設計画は平成25年度まで計画している。平成24年度は鷹巣地区に2戸を予定。その後、指江地区か小浜地区に計画している。

問 茅屋漁港への事務所移転には、加工施設も含めた移転計画か。

答 加工施設を含めて建設要望していたが、移転計画には加工施設は計画されていない。「浜の母ちゃん」の加工施設は荷捌き場なので、来年度以降使用できるか疑問である。

問 温泉センター椿の湯の湯量調査の結果は。

答 平成22年11月1日時点で対象者104人、平成23年11月1日現在では112人で、8人の増となっている。その他に法律改正により10月からケアホームの家賃1万円を上限に助成する制度が始まった。

問 平成22年度次世代対策交付金国庫補助金の返還金の内容は。

答 保育所関連の交付金で、平成22年度の実績確定が今の時期になるため、精算により返還するものである。

▼保健衛生課関係

問 8月から野田の夜間一次救急診療所が開

設されているが、実績は。

答 出水管内では8月から10月までの利用者の合計が565人で、内訳は出水市が339人で60・0%、阿久根市が143人で25・3%、長島町が40人で7・1%、出水地区内に住民票がないが、地元出身者の里帰りなどでの受診者が、43人で7・6%となっている。

問 国民健康保険特別会計補正予算の脳卒中対策モデル事業の内容は。

答 県の新規事業で平成23年度から平成27年度までの5年間実施する予定の事業である。

問 県の新規事業で平成23年度から平成27年度までの5年間実施する予定の事業である。

答 湯量の状況は、掘削当初は毎分80ℓであったが、現在は、毎分58ℓまで減少している。今後、施設を継続していくとなると施設の老朽化を含め、新しい井戸の掘削が必要と考えている。

問 今後の住宅建設計画は。

答 住宅建設計画は平成25年度まで計画している。平成24年度は鷹巣地区に2戸を予定。その後、指江地区か小浜地区に計画している。

問 茅屋漁港への事務所移転には、加工施設も含めた移転計画か。

答 加工施設を含めて建設要望していたが、移転計画には加工施設は計画されていない。「浜の母ちゃん」の加工施設は荷捌き場なので、来年度以降使用できるか疑問である。

問 温泉センター椿の湯の湯量調査の結果は。

答 当初、食堂と同時にオープンする計画で

県内の各振興局で1団体を選出して行う事業で、北薩地域振興局管内では長島町が脳卒中による死亡率が高いとの理由で選出された。

問 介護保険特別会計補正予算の特別養護老人ホームの建設工事について、以前から軟弱地盤が懸念されていたが、その後対策がとられたのか。

答 施工者が施設内4カ所を10mボーリングして地質調査を行った結果、基礎部分の深層混合処理工法で施工し、基礎強化を図った。

▼総務課関係

問 防犯カメラの管理についてはどのようになるのか。

答 プライバシー等の課題もあるので、鹿兒島県の指針に基づくほか、先進地を視察し管理要領等を定めたい。

問 AED設置について、講習会が必要ではないか。

するの。

答 水洗であり、水を輸送し、タンクに蓄えるという方式である。

問 テレビ共同アンテナ新設事業について、町内に難視聴地域は何かあるのか。また、難視聴解消についての指針はあるのか。

答 新たな難視聴地区は現在30地区あり、数戸だけ離れているデマンド難視型の地区が11カ所ある。町とNHKが進めている共同アンテナ施設設置地区が6カ所、うち説明会まで終わっているのが4カ所である。住民説明会後、組合長などを決め、その後、事業計画を決定し予算計上となる。

▼企画財政課関係

問 獅子島七郎山トイレは浄化槽か、汲み取り式なのか。水洗の場合は、水の確保はどう

答 防災行政無線や1月号広報誌に掲載し、再度周知したい。



況とだんだん市場の第2駐車場用地について、その後の経過は。

答 風車公園の道路・展望所は年内には完成の予定。トイレは1月末に完成予定。だんだん市場の第2駐車場は用地を土地開発基金で購入していたので一般会計予算で処置したただけで、その後の進展はない。

▼学校教育課関係

問 平成24年度から中学校の武道が必修となっているが、現在の中学校の状況はどうなっているか。

答 獅子島中学校が剣道、他の4中学校は柔道を履修している。平成24年度からすべての生徒が武道とダンスを履修することになっている。

▼教育総務課関係

問 学校統廃合の住民

するの。

答 水洗であり、水を輸送し、タンクに蓄えるという方式である。

問 テレビ共同アンテナ新設事業について、町内に難視聴地域は何かあるのか。また、難視聴解消についての指針はあるのか。

答 新たな難視聴地区は現在30地区あり、数戸だけ離れているデマンド難視型の地区が11カ所ある。町とNHKが進めている共同アンテナ施設設置地区が6カ所、うち説明会まで終わっているのが4カ所である。住民説明会後、組合長などを決め、その後、事業計画を決定し予算計上となる。

説明会は今後、どの地区を計画しているか。

答 伊唐小学校区、田尻小学校区、汐見小学校区を計画している。

問 住民説明会の参集範囲はどこまでするか。

答 これまで実施したのは児童生徒の保護者に対しては学校を通して児童生徒便で、地域住民には自治公民館長を通して放送で周知した。

▼農業委員会関係

問 農地無断転用の調査状況は。

答 農地の無断転用は後を絶たないが、農業委員の日ごろの活動の一環で調査を実施している。農地法の改正により、農地の所有状況調査が義務付けられ、遊休地を含め農地調査を毎年実施している。



▼景観推進課関係

問 風車公園の進捗状

いたが、前回と同じ販売方法では厳しいとの意見であったので、町有施設あり方検討委員会での答申を受けて進めて行きたい。

地域おこし協力隊などを視察

総務民生常任委員会
委員長 磯永 秀生

総務民生常任委員会
は11月7日、熊本県球
磨郡山江村と阿久根市
を訪問し、所管事務調
査を実施した。

人材を積極的に誘致
し、その定住・定着を
図ることで、意欲ある
都市住民のニーズに応
えながら、地域力の維

山江村では、総務省が推進する「地域おこし協力隊」をテーマに、持・強化を図っていくことを目的とする取り組みである。

担当課である総務課企画政策係から事業概要の説明を受け、当地で活動している「地域おこし協力隊」隊員から、山江村での支援状況や他自治体で委嘱されている「地域おこし協力隊」の活躍状況などを紹介してもらった。

具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事しているながら、当該地域へ

「地域おこし協力隊」の定住・定着を図って
 とは、人口減少や高齢いくもの。

化等の進捗が著しい地域において、地域外の地域協力活動を行う期間は、おおむね1年

以上3年以下で、財源としては、「地域おこし協力隊」1人あたり350万円、うち報償費等は200万円、その他の経費は150万円を上限とする特別交付税が措置される。

ンター長を委嘱し、プロデュースとして活動支援を行っている。

次に阿久根市では、福祉事務所の財政収支状況や市単独の福祉サービス状況、孤独死の防止策などについて

て、福祉事務所を兼務する生きがい対策課から説明を受け、意見を交換した。

阿久根市の高齢化率は34・6%、35億9626万円が民生費で一

一般会計に占める割合は30・71%、対前年度増率7・99%となり、年々増加しているとのこと。

福祉サービスについて、高齢者訪問給食

サービスを、元日を除く364日実施しているほか、災害時要援護者支援管理システムの構築や緊急時に必要な情報を記入して冷蔵庫に保管する高齢者安心キットの配付を、平成23年度中に実施予定とのこと。平成24年度からは、子ども医療費助成の対象者年齢を15歳までに引き上げて実施する予定とのこと。

状況や介護支援の取り組み状況などについて意見を交換した。

所管事務調査を終え、「地域おこし協力隊」については、都市住民の知識や経験を生かし、高齢者福祉や産業振興などの分野に取り入れることにより、地域の活性化や定住促進対策として活用できる事業であると考えてる。

孤独死の防止策については、民生委員等とは、これからの運営が

協力・連携して、ねたきり高齢者や1人暮らし高齢者世帯等の見回りや各種の相談対応で自立を支援する「在宅福祉アドバイザー」を安定し、住民のニーズに合った取り組みが効果的かつ効果的に進められるよう、中・長期的な視野による対応が必要であると感じた。

設置して活動している。この事業の見回りにより、高齢者が自宅で倒れているのを発見し、人命が救われた事例もある。



で研修・意見交換

このほか、福祉事務所に係る交付税の措置



山江村



山江村で研修・意見交換

所管事務調查報告 ○

議会のうごき

9月	9日	長島町農業委員会総会	4日	北薩広域行政事務組合全員協議会
12月	12月21日	第3回長島町議会定例会	7日	総務民生常任委員会所管事務調査
22日	22日	長島町例月出納検査	9日	県町村議会議長会理事會
25日	25日	杉ノ段招魂祭	11日	水産業振興シンポジウム
26日	26日	阿久根地区消防組合例月出納検査	13日	あづまマンダリン旗争奪少年剣道大会
27日	27日	阿久根地区消防組合協議会	14月	長島町定期監査
28日	28日	北薩広域行政事務組合理事会	15月	長島町農業委員会総会
10月	3日	県市町村総合事務組合監査	15月	出水地域開発促進協議会県知事要望活動
4日	4日	長島町いきいきシルバースポーツ大会・福祉芸能大会	15月	町村議会議長全国大会
6日	6日	北薩地区身体障害者福祉大会	18日	離島振興市町村議会議長全国大会
6月	6月	長島町総合振興計画審議会	19日	長島高校跡地活用調査特別委員会
6月	6月	町村監査委員全国研修会	20日	第56回長島一周駅伝競走大会
6月	6月	町村監査委員全国研修会	20日	関東ながしま会
14日	14日	県知事・県議会議長陳情	22日	長島町例月出納検査
17月	17月	全国離島振興市町村議会議長会理事会	22日	長島おさかな祭り
19日	19日	建設経済文教常任委員会	27日	議会運営委員会
20日	20日	議会だより編集委員会	29日	第5回長島町議会臨時会
21日	21日	長島町例月出納検査		長島町議会活性化調査特別委員会設置に係る準備委員会
22日	22日	第14回ながしま造形美術展開会式	12月	
25月	25月	決算特別委員会	1日	出水地区市町議会議長会
26月	26月	県離島振興町村議会議長会行政視察	3月	長島フェスタ
27日	27日	福岡県小竹町議会行政視察受入	5日	議会運営委員会
		北薩広域行政事務組合全員協議会	9月	第4回長島町議会定例会
		鹿児島県戦没者追悼式		
11月	11月	決算特別委員会		
1日	1日	平成23年度県民表彰式		
2日	2日	北薩空港幹線道路整備促進期成会		
4日	4日	議会だより編集委員会		



長島フェスタ

平成24年第1回長島町議会臨時会

新しい正副議長を選出

平成24年第1回長島町議会臨時会が1月20日に開かれ、濱上實則議長の死去に伴う議長・副議長選挙が行われ、指名推選により小川武男副議長を議長に、植元敏光議員を副議長に選出。この選挙に伴い、議会構成も変更された。



副議長 植元 敏光



議長 小川 武男

議長就任のあいさつ

濱上實則前議長の訃報に接し、慎んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、私は1月の議会臨時会において、町議会議長に就任させていただきました。大変光栄に存じますとともに、責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

議会運営にあたりましては開かれた議会を目指し、調査、研修、研鑽を重ね、町民の皆さまのご意見、ご要望を公正、かつ厳粛に受け止め、議会としての責務を果たして参りたいと思います。

町長より提案される議案等に対しては、是々非々の姿勢で臨み、チェック機能としての機能を十分発揮させ、運営していく所存であります。

どうか町民の皆さまのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

長島町議会議長 小川武男

◎新しい議会構成

議長 小川 武男
副議長 植元 敏光
総務民生常任委員会

委員長 磯永 秀生
副委員長 下塩見 浩
委員 古田 一博

建設経済文教常任委員会

委員長 児島 薩男
副委員長 濱 実男
委員 福永 伸親

議会運営委員会

委員長 植元 敏光
副委員長 磯永 秀生
委員 児島 薩男

下塩見 浩
濱 実男

議会だより編集委員会

委員長 池田 廣
副委員長 植元 敏光
委員 原口 秀昭

下塩見 浩
福永 伸親

長島高校跡地活用調査特別委員会

委員長 池田 廣
副委員長 児島 薩男
委員 植元 敏光

磯永 秀生

議会活性化調査特別委員会

委員長 池田 廣
副委員長 植元 敏光
委員 川上 勇

福永 伸親

部会長 川上 勇
副部会長 福永 伸親
部会員 池田 廣

原口 秀昭

下塩見 浩
崎口 國昭
児島 薩男
調査部会
部会長 林 義明
副部会長 磯永 秀生
部会員 植元 敏光

田中 正隆
濱 実男
石橋 束
古田 一博

※委員長、副委員長、各部会長・副部会長は幹事会
町監査委員 崎口 國昭
町農業委員会委員 田中 正隆

北薩広域行政事務組合議会
議員 濱 実男
林 義明
阿久根地区消防組合議会
議員 原口 秀昭

古田 一博

濱上實則議長のご逝去



濱上實則議長が1月14日、享年74歳で逝去されました。
生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみを申し上げます。

◎略歴

昭和62年に東町議会議員として初当選以来、農業委員、北薩広域行政事務組合議員や文教民生常任委員長、東町議会議長などを歴任し、地域に根ざした議会活動を展開され、港湾・漁港の整備、県道葛輪瀬戸線の全線改良など、多くの事業に尽力されたほか、合併協議会委員として長島地区合併の礎を築かれ、新生「長島町」誕

生に重要な役割を果たされました。

さらに、新「長島町」誕生後は、初代町議会議長として、文字どおり寝食を忘れて長島町発展のために手腕をふるわれました。

公平無私、つねに温顔をたたえておられました。火ごとき情熱と、正義感をようとしており、敢然として事にあたられました。

議員として住民の声

と心を代弁されるだけでなく、議長として、町議会の調整、執行部

に対して是は是、非は非とする視線で議論を重ねてこられました。県内町村議会の舵取り役としても、鹿児島県議会議長会副会長、鹿児島県離島振

興町村議会議長会会長の要職を務められるなど、常にリーダーとして活躍され、そのご功績は誠に顕著なものであります。

まちの話題



伝統の駅伝大会

第56回長島一周駅伝競走大会が11月19日、長島町役場前を発着点として開催された。

今大会は19チームが出場し、午前10時の号砲とともにスタートした選手たちは約36kmを疾走し、1本のたすきをつないだ。

男女混成でチームを編成した中学生の部は14区間で競われ、長島中学校Aがトップでフィニッシュ。一般の部は11区間で健脚を競い、東陸友会が優勝した。

さかなの町をアピール

長島の新鮮な魚をたっぷり楽しんでもらい、日本一のブリの町を情報発信するイベント「長島おさかな祭り」が11月27日、薄井漁港であり、約1万8千人の来場者でにぎわった。

恒例となった模擬入札や魚の一本釣りのほか、アジの詰め放題、漁船パレード、模擬船おろし、ブリ解体ショー、芸能ショー、遊覧船、ブリの試食などで来場者を魅了した。



◆編集後記

立春とはいっても、まだまだ寒い日が続いています。

昨年は、東日本大震災、福島原発事故という未曾有の災害に見舞われ、被災者はもとより、国民全体の価値観が大きく変わる大変な年となりました。

ときに猛威を振るう自然、災害はいつどこで発生するか分かりませんが、私たちはあの震災から何を学び、何を後世に伝えて行かなければならないか、防災意識が問われています。

議会では、昨年12月議会において議会活性化調査特別委員会を設置し、議会の基本条例および活性化、議員定数、報酬に関する調査部会が発足しました。

長島の将来において、創造と活力ある発展、福祉の向上を目指しています。町民の方々のご指導をお願い申し上げます。(植元)

【編集責任者】小川 武男

【編集委員長】池田 廣

【委員】植元 敏光

原口 秀昭

下塩見 浩

福永 伸親